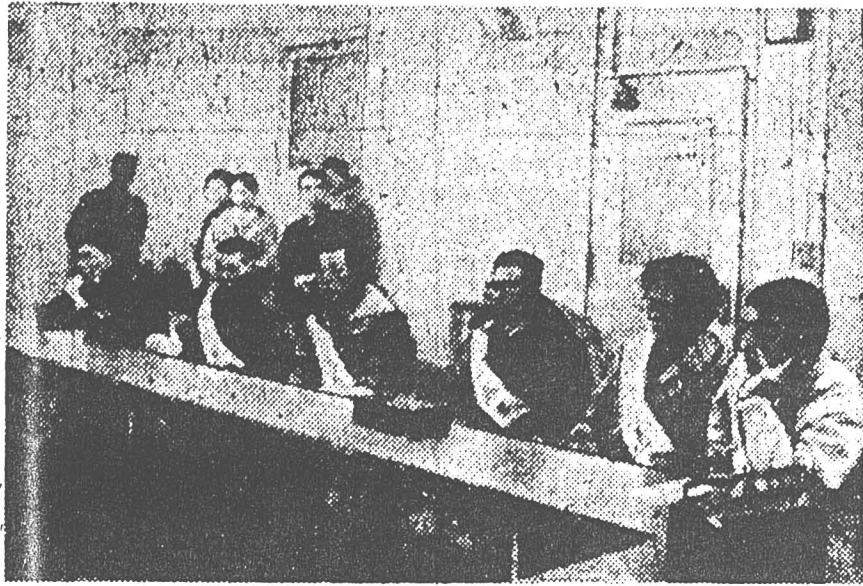


“誠意ある回答示せ”

水俣病新認定患者 チッソ本社へ乗込む

水俣市月浦、看護人川本輝夫さん(右)ら水俣病新認定患者および家族六人は、十五日の水俣での補償交渉の前に、チッソの具体的な誠意ある回答を求めようと六日午後、チッソ本社(東京・丸の内)へ乗り込んだ。



チッソ本社に乗り込んだ川本輝夫さん(右端)ら水俣病新認定患者・家族

一行は、十一月六日から川本さんらを支援して同本社前にすわり込みを続けている東京・水俣病を告発する会員など二十人の出迎えを受けて同日午後二時十五分新幹線で東京駅に着き、そのままチッソは水俣病患者の責任をとれ”と大書したムシロ旗を先頭に、その形で同本社に直行。午後二時

四十分島田社長との会見を申し入れた。
同社長は出張中で不在だったがため、久我常務が応対「話し合いには応ずる。社長は夕方にも帰京するので、会えるように連絡する」と約束。このため一行は同本社前にすわり込んで同社長の帰京を待ったが、七日午前十時に再び会見を申し入れることとして午後四時二十分すぎ宿舎に引きあげた。
(東京支社)